

科目名	初級英会話	国際科	1 年通年
講師	Garry Irwin	講義	水曜 2 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36時間	全32回
科目概要	国際的に活躍できる人材になるために、日本語だけでなく、英語も身に付ける。1年次は身近なテーマや日常会話から実践的に学習を行う。		
到達目標	身近なテーマや日常会話ができるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	Classroom Language - Key phrases for classroom interaction and learning		
2	Start Unit 1 - Introducing yourself		
3	Finish Unit 1 - Meeting people / Occupations		
4	Start Unit 2 - Talking about your personal information using "Wh questions"		
5	Finish Unit 2 - Listening about personal information and personal details		
6	Start Unit 3 - Things you have		
7	Finish Unit 3 - Things people have / personal possessions		
8	Review - Units 1-3		
9	Start Unit 4 - Likes and dislikes		
10	Finish Unit 4 - Music preferences / likes and dislikes		
11	Start Unit 5 - Suggesting things to do		
12	Finish Unit 5 - Free time activities / what do you do for fun?		
13	Start Unit 6 - Things you can do		
14	Finish Unit 6 - Things people can do / people's abilities		
15	Review - Units 4-6		
16	前期定期試験		
17	Start Unit 7 - Present actions		
18	Finish Unit 7 - What people are wearing / what people are doing		
19	Start Unit 8 - Things in your home		
20	Finish Unit 8 - Looking for things / describing rooms		
21	Start Unit 9 - Directions in a town		
22	Finish Unit 9 - Following directions		
23	Review - Units 7-9		
24	Start Unit 10 - Food and drink		
25	Finish Unit 10 - Recipe needs / food and drink		
26	Start Unit 11 - Where you were		
27	Finish Unit 11 - Where people were / past activities and places		
28	Start Unit 12 - Past activities		
29	Finish Unit 12 - Weekend activities / Past activities		

30	Review - Units 10-12
31	Content review, class feedback and textbook questions
32	後期定期試験
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	『Smart Choice Starter』（Oxford University Press）

科目名	基礎英語	国際科	1 年通年
講師	松本真夕	講義	火曜 4 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36時間	全34回
科目概要	英語の語彙を増やし、文法の基礎をしっかりと定着させて、理解を深める。		
到達目標	英検 4 級レベルの語彙と文法の定着、理解の向上を目標とする。		
授業計画			
1	5 級の基礎 be動詞		
2	5 級の基礎 一般動詞		
3	5 級の基礎 疑問文・否定文		
4	5 級の基礎 進行形		
5	5 級の基礎 疑問詞を使った疑問文と答え方		
6	L1~2 よく出る動詞		
7	L3~5 名詞や形容詞		
8	L6 熟語		
9	L7 熟語		
10	L8 その他の熟語		
11	L9 形容詞の熟語		
12	L10 時と場所の熟語		
13	L11 一般動詞の過去		
14	復習		
15	前期定期試験		
16	L12 be動詞の過去形		
17	L13 未来文		
18	L14 助動詞		
19	L15 不定詞		
20	L16 接続詞		
21	L17 比較		
22	L18 比較文		
23	L19 文型の形		
24	L20 命令文		
25	L21 許可・依頼		
26	L22 誘う表現		
27	L23 感想を聞く表現		
28	L24 疑問文		
29	L25 尋ねる表現		

30	L26 時、場所のたずね方
31	復習
32	後期定期試験
33	復習
34	復習
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『英検 4 級をひとつひとつわかりやすく』（学研教育出版）

科目名	日本文化 茶道	国際科	1 年通年
講師	飽本 晴美	実習	水曜 5 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36時間	全32回
科目概要	外国の方に日本文化を紹介し、もてなすことに役立てられるよう抹茶の点て方を学びます。和室での所作やお点前など何度も繰り返し、体で覚え身につけることを大切にします。		
到達目標	盆手前ができるようになることを目指します。		
授業計画			
1	お菓子の食べ方（取り回し）、お茶の飲み方、出し方		
2	座り方、お辞儀の仕方、ふすまの開け方、締め方		
3	床の拝見の仕方、茶道具の名前を覚える		
4	割り稽古：袱紗捌き、棗の拭き方		
5	割り稽古：袱紗捌き、茶杓の拭き方		
6	割り稽古：茶巾のたたみ方、茶碗への道具の仕込み方		
7	割り稽古：茶筌通し、茶碗の拭き方		
8	割り稽古：茶杓の扱い、茶筌の扱い（茶の点て方）		
9	通し稽古（湯なし）：茶を点てるまで		
10	通し稽古（湯なし）：茶を点てるまで		
11	通し稽古（湯なし）：茶を点ててから片付けまで		
12	通し稽古（湯なし）：茶を点ててから片付けまで		
13	通し稽古（湯なし）：茶を点ててから片付けまで		
14	実技試験		
15	講義		
16	前期定期試験		
17	通し稽古（湯あり）		
18	通し稽古（湯あり）		
19	通し稽古（湯あり）		
20	通し稽古（湯あり）		
21	通し稽古（湯あり）		
22	通し稽古（湯あり）		
23	通し稽古（湯あり）		
24	辛島祭（お茶会）準備：稽古		
25	辛島祭（お茶会）準備：稽古		
26	辛島祭（お茶会）準備：稽古		
27	通し稽古（湯あり）		
28	通し稽古（湯あり）		
29	通し稽古（湯あり）		

30	実技試験
31	講義
32	後期定期試験
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評価は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評価する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	—

科目名	ビジネスマナー	国際科	1 年通年
講師	松本 真夕	講義	金曜 4 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36時間	全34回
科目概要	留学生が日本で日本人と働く際に困らないよう、ビジネスにおけるマナーと ルールの基礎を学ぶ。		
到達目標	日本でのルールやマナーを理解し、身につけることで、アルバイト先や社会に 出てからも行動できるようになる。		
授業計画			
1	第 1 章, 1 節 2 節	日本人と働く心がまえと上司や先輩との付き合い方	
2	第 1 章, 3 節 4 節	同僚との付き合い方	
3	第 1 章, 5 節 6 節	ウチとソトとの関係、チームワーク	
4	第 1 章, 7 節 8 節	配慮のある話し方、話の進め方	
5	第 2 章, 1 節 2 節	時間厳守、就業時間	
6	第 2 章, 3 節 4 節	身だしなみとあいさつ	
7	第 2 章, 5 節 6 節	報告・連絡・相談	
8	第 2 章, 7 節 8 節	情報管理、ハラスメント	
9	復習		
10	第 3 章, 1 節 2 節	話しを聞く時、指示を受ける時	
11	第 3 章, 3 節 4 節	注意を受けて時、退社時のマナー	
12	第 3 章, 5 節 6 節	葬儀のマナー、贈答のマナー	
13	第 3 章, 7 節 8 節	食事やお酒の席でのマナー	
14	復習		
15	前期定期試験		
16	第 4 章, 1 節 2 節	名詞の扱い方、雑談	
17	第 4 章, 3 節 4 節	場所ごとの席次、案内と見送り	
18	第 4 章, 5 節	お茶の出し方	
19	第 4 章, 6 節	訪問のマナー	
20	第 4 章, 7 節	営業活動	
21	第 4 章, 8 節	派遣・出向	
22	復習		
23	第 5 章, 1 節	敬語	
24	第 5 章, 2 節	話しことばと書きことば	
25	第 5 章, 3 節	漢字の使い方	
26	第 5 章, 4 節	ビジネスメール	
27	第 5 章, 5 節	ビジネス文書	
28	第 5 章, 6 節	はがきと封筒の使い方	
29	第 5 章, 7 節	電話を受ける時	

30	第 5 章, 8 節	電話をかける時
31	復習	
32	後期定期試験	
33	復習	
34	復習	
	成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を 90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
	教科書名	『留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール』 （日本能率協会マネジメントセンター）

科目名	異文化理解	国際科	1年通年
講師	上村 ひとみ	講義	木曜 3 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36時間	全33回
科目概要	世界の多様な文化、習慣に対する理解を深める。 主に、場面を通して、自分の国の文化との比較を行う。		
到達目標	異なる文化の人と出会ったときに、問題なくスムーズにコミュニケーションが とれるようになることを目標とする。		
授業計画			
1	「こんにちは！」（登場人物紹介）と 4 月の1		
2	4 月の 1		
3	4 月の 2		
4	4 月の 2		
5	5 月の 1		
6	5 月の 1		
7	5 月の 2		
8	5 月の 2		
9	6 月の 1		
10	6 月の 1		
11	6 月の 2		
12	7 月の 1		
13	7 月の 2		
14	前期の復習		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FBと8月の1		
17	8 月の 1		
18	8 月の 2		
19	8 月の 2		
20	9 月の 1		
21	9 月の 2		
22	9 月の 2		
23	10月の 1		
24	10月の 1		
25	10月の 2		
26	10月の 2		
27	11月の 2		
28	11月の 2		
29	12月の 1		
30	12月の 1		

31	後期の復習
32	後期定期試験
33	後期定期試験FBとひな祭り
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	『マンガで学ぶ日本語表現と日本文化—多辺田家が行く!!』（アルク）

科目名	総合教養講座	国際科	1 年通年
講師	上野 綾子	講義	火曜 6 限
実務経験のある教員等による指導		2 単位 36時間	全34回
科目概要	日本で就職活動をするにあたって必要となるスキルを身に付け、実際に「使える」ように実践も取り入れる。 面接などの際に話が広げられるように今社会では何が起きているのか時事問題も授業の中で取り上げる。		
到達目標	就職活動に対しての心構えと就職活動に意識を向けることを目標とする。 実際に就職活動において使える能力を育成する。		
授業計画			
1	就職活動についての説明 自己紹介 自己分析について 自己分析：自分の強み		
2	時事問題① 自己分析：自分の長所・短所		
3	自己分析：頑張ったこと		
4	自己分析：頑張ったこと 自分の好きなこと／嫌いなこと		
5	自己分析：マインドマップ作り 自分のことを知る		
6	自己分析：目標の設定 就職活動の予定表づくり		
7	時事問題② 募集条件の見方～内容の把握～		
8	履歴書の書き方練習		
9	履歴書の書き方練習②		
10	履歴書の書き方実践+まとめ		
11	時事問題③ 自分自身のキャッチコピー作り		
12	自分自身のキャッチコピー作り+まとめ		
13	企業について知る-働くとは-		
14	企業について知る※実際に見学		
15	まとめ		
16	前期定期試験		
17	前期定期試験FB		
18	後期授業開始：性格を表すことばのFB—性格を表すことばを増やす活動—		
19	時事問題④ 1分間自己紹介（前期で学んだことを活かす） 他の人の履歴書から		
20	面接の際どうする？面接の際の対応について		
21	面接練習／面接の流れ／面接の際に気を付けること		
22	時事問題⑤ 企業研究：「業界・業種・職種」について		
23	企業研究のやり方		
24	業界研究の仕方		
25	業界研究の仕方		
26	時事問題⑥ 志望動機の書き方		
27	志望動機の書き方		

28	志望動機 の書き方
29	まとめ
30	ハローワーク の方来校 就職活動 の指導 ①
31	ハローワーク の方来校 就職活動 の指導 ②
32	ハローワーク の方来校 就職活動 の指導 ③
33	後期定期試験
34	後期定期試験FB
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	『伸ばす！就活能力・ビジネス日本語力』（国書刊行会）

科目名	社会人基礎力育成	国際科	1年通年
講師	白濱 明子	講義	金曜 1 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36時間	全34回
科目概要	留学生が社会に出た際に困らないよう、働くために必要なスキルを学ぶ。1 年次では自分から発信していく能力を鍛えることに重点を置く。		
到達目標	自分の意見をしっかりと持ち、それを伝える力を身に付ける。同時に、周囲の出来事を的確に理解する力を鍛える。		
授業計画			
1	社会人基礎力とは 人生計画（キャリアデザイン1）・適職診断		
2	発信力① 自己PR 1分間スピーチ下書き		
3	発信力② 1分間スピーチ 発表		
4	規律性① ルール・マナーを守らなかったら		
5	規律性② 信頼される人になろう スピーチ下書き		
6	規律性③ スピーチ発表 課題発見力①		
7	課題発見力② 人生計画に必要なもの（キャリアデザイン2）		
8	課題発見力③ スピーチ発表		
9	ストレスコントロール力①		
10	ストレスコントロール力② スピーチ準備		
11	ストレスコントロール力③ スピーチ発表 傾聴力①		
12	傾聴力②		
13	説明力①		
14	復習		
15	定期試験		
16	定期試験FB		
17	ワークライフバランス 説明力②		
18	説明力② 原稿下書き		
19	説明力③ 発表		
20	協調性・働きかけ力①		
21	協調性・働きかけ力②		
22	協調性・働きかけ力③		
23	計画力①		
24	計画力②		
25	計画力③		
26	ビジネスゲーム		
27	ディベート1		
28	ディベート2		
29	キャリアデザイン3		

30	キャリアデザイン4
31	スピーチ 下書き
32	定期試験
33	定期試験FB
34	スピーチ 発表
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	<p>レジュメ</p> <p>参考テキスト『わかる社会人基礎力』</p>

科目名	PCスキル基礎	国際科	1年通年
講師	恒松 宏美	実習	火曜1限
実務経験のある教員等による指導	職業訓練校で社会人求職者を対象に主にWord、Excelの実技指導した経験を活かして、初心者から経験者まで受講者のレベルに合わせた指導と個別指導を徹底する。	2単位 36時間	全32回
科目概要	1年次では、基本的なコンピューターの使い方を学ぶ。まずは、日本語でコンピューターを入力することに慣れ、日本語を用いてWord、Excel、メールなどの作業ができるようになることを目標とする。Windows10、Word2016の基本操作をテキストを使いながら操作を中心に進める。またインターネットの使用ルールを正しく理解する。		
到達目標	Windowsでは、基本操作ができるようになる。 Wordでは、入力、文書作成、表の作成、デザイン文書が作成できるようになる。情報倫理では、インターネットの使用ルールを正しく理解できるようになり、情報モラルが身に付くことを目標とする。		
授業計画			
1	Windows起動・基本操作・Windows終了		
2	(Word) Wordの概要・Wordを起動する・Wordの画面構成・Wordを終了する		
3	作成する文書を確認する・新しい文書を作成する		
4	文章を入力する		
5	文字を削除する・挿入する		
6	文字をコピーする・移動する		
7	文章の体裁を整える		
8	文章を印刷する・文章を保存する		
9	作成する文書を確認する・ワードアートを挿入する		
10	画像を挿入する・文字の効果を設定する・ページ罫線を設定する		
11	作成する文書を確認する・表を作成する・表のレイアウトを変更する		
12	表に書式を設定する		
13	段落罫線を設定する		
14	日本語ワープロ検定3級		
15	日本語ワープロ検定3級		
16	前期定期試験		
17	(PowerPint) PowerPintの起動・PowerPintを起動する・PowerPintの画面構成		
18	作成するプレゼンテーションを確認する		
19	新しいプレゼンテーションを作成する・テーマを適用する		
20	プレースホルダーを操作する		
21	新しいスライドを挿入する・図形を作成する		
22	SmartArtグラフィックを作成する		
23	スライドショーを実行する		
24	画面切り替え効果を設定する・アニメーションを設定する		
25	プレゼンテーションを印刷する・発表者ビューを利用する		

26	プレゼンテーション作成検定3級
27	プレゼンテーション作成検定3級
28	プレゼンテーション作成検定2級
29	プレゼンテーション作成検定2級
30	プレゼンテーション作成検定2級
31	まとめ
32	後期定期試験
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評価は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	『よくわかる Microsoft Word 2016 & Microsoft Excel 2016 & Microsoft PowerPoint 2016 <改訂版>』（FOM出版）

科目名	体育	国際科	1年通年
講師	麦島 幸喜	実技	金曜6限
実務経験のある教員等による指導		2単位 36時間	全32回
科目概要	健康の考え方、健康を保持・増進するためには何が必要か。生活習慣病とは？脳はどのような働きをするのか？応急処置の理解。運動技能にはどのような違いがあるのか、技能を高めるためには、どのような工夫が必要か。スポーツの楽しみ方を学ぶ。		
到達目標	応急処置ができるようになる 運動技能・技術を高め、スポーツを楽しめるようになる チームで勝敗を競い、集団行動の中から、まとめ役となれるようなリーダーを目指す		
授業計画			
1	体力測定（前期）		
2	現代社会の健康	①健康の考え方と課題	
3	現代社会の健康	②健康水準と病気の傾向	
4	運動やスポーツの学習	①体幹（バランスボール、マット運動 等）	
5	運動やスポーツの学習	②体幹（バランスボール、マット運動 等）	
6	運動やスポーツの学習	③球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）	
7	健康の増進と病気の予防	①生活習慣病とはどのような病気か	
8	健康の増進と病気の予防	②食事と健康	
9	健康の増進と病気の予防	③運動と健康	
10	健康の増進と病気の予防	④休養と睡眠	
11	健康の増進と病気の予防	⑤禁煙と飲食と健康	
12	健康の増進と病気の予防	⑥薬物乱用とその予防	
13	健康やスポーツの学習	④球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）	
14	健康とスポーツの学習	⑤球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）	
15	健康とスポーツの学習	⑥球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）	
16	前期定期試験		
17	体力測定（後期）		
18	運動とスポーツの学習	⑦体幹（バランスボール、縄跳び 等）	
19	運動とスポーツの学習	⑧体幹（バランスボール、縄跳び 等）	
20	運動とスポーツの学習	⑨リズム体操	
21	精神の健康	①脳と神経の動き	
22	精神の健康	②欲求不満と適応機能	
23	精神と健康	③心身相関とストレス	
24	応急手当	①応急手当の理解	
25	応急手当	②心肺蘇生の実践	

26	応急手当	③日常的な応急手当
27	運動やスポーツの学習	⑩球技（卓球、ポートボール、ドッジボール 等）
28	運動やスポーツの学習	⑪長縄跳び
29	運動やスポーツの学習	⑫長縄跳び
30	運動やスポーツの学習	⑬持久力（シャトルラン 等）
31	スポーツテスト	
32	後期定期試験	
	成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、出席10%+定期試験80%+取り組み・小テスト・課題提出10%=各学期成績100%(60%以上合格)</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
	教科書名	<p>プリント等</p> <p>『保健指導 お助けパワーポイントブック』（少年写真新聞社）</p> <p>『現代高等保健体育』（大修館）</p>

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	白濱 明子	講義	火曜 2 限
実務経験のある教員 等による指導		8 単位 144時間	全34回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	『学ぼうにほんご初中級』文法L1~2		
2	読解 1 ②		
3	文法テストL1~2、『学ぼうにほんご初中級文法L 3		
4	問題集L3~ 4 FB		
5	読解 2 ②		
6	『学ぼうにほんご初中級』文法L 5		
7	読解 3 ①		
8	『学ぼうにほんご初中級』文法L 7		
9	文法テストL5~ 6 読解 4 ①		
10	文法復習		
11	問題集L7~ 8 FB		
12	読解 5 ②		
13	復習テストL5~ 8 FB		
14	復習①		
15	定期試験<文法>		
16	定期試験<文法>FB		
17	『学ぼうにほんご初中級』文法L10		
18	問題集L9~10 FB		
19	読解 6 ②		
20	読解 7 ①		
21	『学ぼうにほんご初中級』文法L12		
22	文法テストL11~12 読解 8 ①		
23	復習テストL 9 ~12		
24	『学ぼうにほんご初中級』文法L14		
25	文法テストL13-14 文法L15		
26	読解 9 ②		
27	問題集L15~16 FB		
28	文法テストL15~16、復習（テストFB含む）		

29	『学ぼうにほんご初中級』 文法L17
30	問題集L17～18 FB
31	復習
32	後期定期試験<文法>
33	後期定期試験<文法> FB
34	『学ぼうにほんご初中級』 文法L20
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	<p>『学ぼう！にほんご 初中級』（専門教育出版）</p> <p>『読解厳選テーマ25+10 [初中級]』（凡人社）</p>

科目名	総合日本語	国際科	1 年通年
講師	松本 真夕	講義	火曜 3 限
実務経験のある教員 等による指導		8 単位 144時間	全34回
科目概要	語彙力を養成するために、どのような状況でどのような日本語を使うかを想定しながらN3の語彙を学び、運用できる力をつけていながら語彙力を伸ばす。		
到達目標	日本語能力試験N3合格の為、語彙問題の正解率を 8 割を目標とする。		
授業計画			
1	第 1 部 1 課 人間関係 I		
2	2 課 人間関係 II		
3	3 課 毎日の生活		
4	4 課 食生活		
5	5 課 家		
6	6 課 美容・健康		
7	7 課 病気		
8	8 課 スポーツ・芸術		
9	9 課 ファッション		
10	10 課 旅行		
11	11 課 学校生活 I		
12	12 課 学校生活 II		
13	13 課 仕事 I		
14	14 課 仕事 II		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FB		
17	15 課 事件・事故		
18	16 課 政治・経済		
19	17 課 行事・宗教		
20	18 課 季節・天気		
21	19 課 植物・動物		
22	20 課 数と量		
23	21 課 時間		
24	第 2 部 1 課 和語動詞		
25	2 課 漢語動詞		
26	3 課 形容詞		
27	4 課 副詞		
28	5 課 オノマトペ		

29	6 課 間違えやすい漢語
30	7 課 言い換え類義
31	8 課 語形成&復習
32	後期定期試験
33	後期定期試験FB
34	復習
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『新完全マスター語彙N3』（スリーエーネットワーク）

科目名	総合日本語	国際科	1 年通年
講師	高橋 尚子	講義	水曜 1 限
実務経験のある教員 等による指導		8 単位 144時間	全34回
科目概要	日本人の自然な会話を聞き、そのポイントを理解する力を養成する。日常生活でよく使われる語彙や表現を場面別に学んでいくことで、適切な表現での会話ができるようになることを目指す。		
到達目標	日本人の自然な会話を聞き取り、場面に応じた表現で対応できるようになる。		
授業計画			
1	第 1 課①		
2	第 1 課②		
3	第 1 課③		
4	第 2 課①		
5	第 2 課②		
6	第 2 課③		
7	第 3 課①		
8	第 3 課②		
9	第 3 課③		
10	第 4 課①		
11	第 4 課②		
12	第 4 課③		
13	第 5 課①		
14	復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FB		
17	第 5 課②		
18	第 5 課③		
19	第 6 課①		
20	第 6 課②		
21	第 6 課③		
22	第 7 課①		
23	第 7 課②		
24	第 7 課③		
25	第 8 課①		
26	第 8 課②		
27	第 8 課③		
28	第 9 課①		

29	第9課②
30	第9課③
31	復習
32	後期定期試験
33	まとめ
34	まとめ
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『日本語生中継 初中級編1』（くろしお出版）

科目名	総合日本語	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜 5限
実務経験のある教員 等による指導		8単位 144時間	全34回
科目概要	四技能（読む、聞く、書く、話す）を総合的に学習し、さらなる日本語力の向上につなげる。四技能を全体的に向上させることを目標とする。		
到達目標	中級から中上級レベルの四技能（読む、聞く、書く、話す）を全体的に向上させることを目標とする。		
授業計画			
1	読解①-1		
2	『学ぼう！にほんご 初中級』問題集FB L1、2		
3	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L4		
4	『学ぼう！にほんご 初中級』L3、4文法テスト / 読解②-1		
5	『学ぼう！にほんご 初中級』復習テストL1-4		
6	復習テストFB		
7	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L6		
8	読解③-2		
9	『学ぼう！にほんご 初中級』問題集FB L5、6		
10	読解④-2		
11	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L8		
12	『学ぼう！にほんご 初中級』L7、8文法テスト / 読解⑤-1		
13	『学ぼう！にほんご 初中級』復習テストL5-8		
14	復習		
15	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L9		
16	前期定期試験〈読解〉		
17	定期試験FB		
18	『学ぼう！にほんご 初中級』文法テストL9-10 / 読解⑥-1		
19	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L11		
20	読解⑦-2		
21	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L13		
22	『学ぼう！にほんご 初中級』問題集FB L11-12		
23	読解⑧-2		
24	『学ぼう！にほんご 初中級』復習テストFB		
25	『学ぼう！にほんご 初中級』問題集FB L13-14		
26	読解⑨-1		
27	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L16		
28	『学ぼう！にほんご 初中級』復習テストL13-16		

29	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L18
30	『学ぼう！にほんご 初中級』文法テストL17-18 / 復習
31	『学ぼう！にほんご 初中級』文法L19
32	復習
33	後期定期試験〈読解〉
34	定期試験FB / 『学ぼう！にほんご 初中級』問題集FB L19-20
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	<p>『学ぼう！にほんご 初中級』（専門教育出版）</p> <p>『読解厳選テーマ25+10 [初中級]』（凡人社）</p>

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	松本 真夕	講義	金曜 2 限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全34回
科目概要	日本語能力試験対策N3は日本で生活する上でも必要な文法や語彙が多く、いずれN2合格を見据えて、N3の試験問題の形式に慣れ、きちんと理解する。		
到達目標	日本語能力試験N3に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	パワードリルN3文字語彙第 1 回		
2	パワードリルN3文字語彙第 2 回		
3	パワードリルN3文字語彙第 3 回		
4	前期 第 1 回 模擬試験		
5	模擬試験FB		
6	パワードリルN3文法第 1 回		
7	パワードリルN3文法第 2 回		
8	パワードリルN3文法第 3 回		
9	前期 第 2 回 模擬試験		
10	模擬試験FB		
11	ドリル&ドリルN3聴解課題理解		
12	ドリル&ドリルN3聴解ポイント理解		
13	ドリル&ドリルN3聴解概要理解		
14	パワードリル文字語彙第 4 回		
15	前期定期試験		
16	前期定期試験FB		
17	復習		
18	後期授業開始 :		
19	後期 第 1 回 模擬試験		
20	模擬試験FB		
21	パワードリル文字語彙第 5 回		
22	パワードリル文字語彙第 6 回		
23	パワードリル文字語彙第 7 回		
24	後期 第 2 回 模擬試験		
25	模擬試験FB		
26	パワードリル文法第 4 回		
27	パワードリル文法第 5 回		
28	パワードリル文法第 6 回		

29	パワードリル文法第7回
30	ドリル&ドリルN3聴解発話表現
31	ドリル&ドリルN3聴解即時応答
32	後期定期試験
33	後期定期試験FB
34	復習
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	<p>『ドリル&ドリル 文字・語彙 聴解・読解 N2』</p> <p>※聴解のみ（ユニコム）</p> <p>『パワードリルN3』文字・語彙／文法（アスク出版）</p>

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	上野 綾子	講義	金曜 3 限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全34回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。まず、N2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	語彙 漢字読み、表記、文脈規定／聴解 課題理解		
2	語彙 言い換え類義、用法／聴解 ポイント理解		
3	文法 文の文法 1		
4	前期 第 1 回 模擬試験		
5	模擬試験FB		
6	文法 文の文法 2、文章の文法		
7	読解 短文、中文／聴解 概要理解		
8	読解 長文 情報検索／聴解 発話表現、即時応答		
9	前期 第 2 回 模擬試験		
10	模擬試験FB		
11	語彙 漢字読み、表記、文脈規定／聴解 課題理解、ポイント理解		
12	語彙 言い換え類義、用法／聴解 概要理解、発話表現、即時応答		
13	文法 文の文法 1		
14	文法 文の文法 2、文章の文法		
15	前期定期試験		
16	前期的試験FB		
17	前期のまとめ		
18	後期開始：読解 短文、中文／聴解 課題理解		
19	後期 第 1 回 模擬試験		
20	模擬試験FB		
21	読解 長文、情報検索／聴解 ポイント理解		
22	聴解 概要理解、発話表現、即時応答		
23	語彙 漢字読み、表記、文脈規定／聴解 課題理解		
24	後期 第 2 回 模擬試験		
25	模擬試験FB		
26	語彙 言い換え類義、用法／聴解 ポイント理解		
27	文法 文の文法 1		
28	文法 文の文法 2、文章の文法		

29	読解 短文、中文／聴解 概要理解
30	読解 長文 情報検索／聴解 発話表現、即時応答
31	復習／聴解
32	後期定期試験
33	後期定期試験FB
34	後期のまとめ
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『日本語能力試験N3 予想問題集』（国書刊行会）

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1年通年
講師	梅山 みどり	講義	月曜1・2限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全68回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。まず、N2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験のN2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	「言葉を覚えよう1」(文型・表現) p8		
2	漢字読みp16、表記p17		
3	文脈規定p26、言い換え類義p27		
4	[例題と解き方](用法、文の組み立て) p11, 12		
5	用法p36、文の組み立てp37		
6	文法形式の判断p46, 47		
7	[例題と解き方](内容理解) p68, 69 読解(内容理解) p74, 75		
8	[例題と解き方](課題理解) p136, 137 聴解(課題理解) p146, 147		
9	漢字読みp18、表記p19		
10	文脈規定p28		
11	言い換え類義p29		
12	読解(内容理解) p78, 79		
13	「言葉を覚えよう1」(名詞) p8		
14	聴解(課題理解) p148, 149、用法p38		
15	文の組み立てp39		
16	文法形式の判断p50		
17	読解(内容理解) p94, 95		
18	文法形式の判断p51		
19	[例題と解き方]p137, 138, 139 聴解(ポイント理解) p156		
20	漢字読みp20、表記p21		
21	読解(内容理解) p82, 83		
22	[例題と解き方]p71, 72, 73		
23	読解(情報検索) p124, 125		
24	「言葉を覚えよう2」(動詞) p66		
25	[例題と解き方]p139, 140 聴解(概要理解、発話表現) p162, 163		
26	[例題と解き方]p11, 12, 13 用法p40		
27	文の組み立てp41		
28	読解(内容理解) p98, 99 p114, 115		

29	前期定期試験
30	前期定期試験
31	[例題と解き方]p141 聴解（即時応答） p172
32	文法形式の判断p54, 55
33	読解（内容理解） p116, 117、聴解（ポイント理解） p157
34	聴解（概要理解） p164, 165
35	漢字読みp22、表記p23
36	「言葉を覚えよう2」（助詞） p66
37	文脈規定p30、言い換え類義p31、聴解（即時応答） p173
38	読解（内容理解） p102, 103、（情報検索） p126, 127
39	聴解（課題理解） p150, 152、（ポイント理解） p158
40	文脈規定p32、言い換え類義p33
41	「言葉を覚えよう3」（い形容詞） p134
42	文の組み立てp43、読解（内容理解） p118, 119
43	聴解（概要理解） p166、（発話表現） p166, 167
44	聴解（即時応答） p174、漢字読みp24
45	文脈規定p34、言い換え類義p35
46	読解（内容理解） p86, 87
47	聴解（課題理解） p152, 153
48	用法p42、文の組み立てp45
49	読解（内容理解） p106, 107
50	聴解（ポイント理解） p159
51	文法形式の判断p58, 59
52	用法p44、読解（情報検索） p128, 129
53	「言葉を覚えよう3」（な形容詞） p134
54	聴解（概要理解） p168, 169
55	文法形式の判断p62, 63
56	読解（内容理解） p90, 91
57	聴解（即時応答） p175
58	表記p25、読解（内容理解） p120, 121
59	聴解（課題理解） p154, 155
60	読解（内容理解） p110, 111
61	聴解ポイント理解p160
62	読解（情報検索） p130
63	後期定期試験
64	後期定期試験
65	聴解（概要理解、発話表現） p170, 171
66	読解（内容理解） p122, 123
67	聴解（即時応答） p176
68	読解（情報検索） p132, 133

成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『JLPT N3 日本語能力試験ベスト総合問題集』（ジャパントイムズ出版）

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	永村 洋藤	講義	木曜 1 限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全33回
科目概要	日本語能力試験は、就職活動を行う上でも日本語力を測る目安として用いられる。日本語能力試験のN2に合格することを目標に、日本語能力試験の問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。		
到達目標	日本語能力試験N2に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 1 回	
2	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 2 回	
3	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 3 回	
4	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 4 回	
5	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 5 回	
6	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 6 回	
7	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 7 回	
8	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 8 回	
9	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第 9 回	
10	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第10回	
11	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 2 第1~2回	
12	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 2 第3~4回	
13	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文章の文法第1~3回	
14	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文章の文法第4~6回	
15	前期定期試験		
16	前期試験FB		
17	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第11回	
18	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第12回	
19	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第13回	
20	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第14回	
21	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第15回	
22	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第16回	
23	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第17回	
24	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第18回	
25	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第19回	
26	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 1 第20回	
27	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 2 第5~6回	
28	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法	文の文法 2 第7~8回	

29	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法 文の文法 2 第9~10回
30	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法 文の文法 2 第11~12回
31	木曜 1 : ドリル&ドリルN3文法 文章の文法第7~9回
32	後期定期試験
33	後期試験FB
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『ドリル&ドリル日本語能力試験 N3文法』（ユニコム）

科目名	日本語能力試験対策	国際科	1 年通年
講師	高橋 尚子	講義	木曜 2 限
実務経験のある教員 等による指導		12単位 216時間	全33回
科目概要	N2 に合格することを目標に、日本語能力試験の読解問題の形式に慣れ、コツをつかむための練習を行う。読解問題をより早い時間で解くためのテクニックを知り、試験に合格するための力を養成する。		
到達目標	日本語能力試験N2 に合格することを目標とする。		
授業計画			
1	ウォーミングアップ		
2	練習問題 1 日目①		
3	書き言葉に慣れよう①		
4	練習問題 2 日目		
5	書き言葉に慣れよう②		
6	練習問題 3 日目		
7	書き言葉に慣れよう③		
8	練習問題 4 日目		
9	書き言葉に慣れよう④		
10	練習問題 5 日目		
11	読むスピードを上げよう①②		
12	練習問題 6 日目		
13	読むスピードを上げよう③④		
14	復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FB		
17	練習問題 7 日目		
18	読むスピードを上げよう⑤⑥		
19	練習問題 8 日目		
20	読むスピードを上げよう⑦⑧		
21	練習問題 9 日目		
22	読むスピードを上げよう⑨		
23	練習問題10日目		
24	いろいろな文章を読もう①		
25	練習問題11日目		
26	いろいろな文章を読もう②		
27	練習問題12日目		
28	いろいろな文章を読もう③		

29	練習問題13日目
30	いろいろな文章を読もう④
31	復習
32	後期定期試験
33	定期試験FB
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	<p>『必ずできる！ JLPT「読解」N3』（アルク）</p> <p>『新完全マスター読解 日本語能力試験N3』（スリーエーネットワーク）</p>

科目名	ビジネス日本語	国際科	1 年通年
講師	上村 ひとみ	講義	木曜 4 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36 時間	全 33 回
科目概要	仕事をするうえで役に立つ日本語表現を学ぶ。ロールプレイを通して敬語を正しく使えるようになるなど、実際の現場で使われる表現や日本語の知識を習得することを目標とする。		
到達目標	実際に働く際に役に立つ日本語の知識を習得することを目標とする。		
授業計画			
1	第1課「紹介する」の導入		
2	第1課「紹介する」		
3	第1課「紹介する」		
4	第1課「紹介する」		
5	第1課「紹介する」		
6	第1課「紹介する」		
7	第1課「紹介する」復習		
8	第2課「あいさつをする」導入		
9	第2課「あいさつをする」		
10	第2課「あいさつをする」		
11	第2課「あいさつをする」		
12	第2課「あいさつをする」		
13	第2課「あいさつをする」復習		
14	前期の復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FB 第3課「電話をかける・受ける」導入		
17	第3課「電話をかける・受ける」		
18	第3課「電話をかける・受ける」		
19	第3課「電話をかける・受ける」		
20	第3課「電話をかける・受ける」		
21	第3課「電話をかける・受ける」復習		
22	第4課「注意する・注意を受ける」導入		
23	第4課「注意する・注意を受ける」		
24	第4課「注意する・注意を受ける」		
25	第4課「注意する・注意を受ける」		
26	第4課「注意する・注意を受ける」		
27	第4課「注意する・注意を受ける」復習		
28	第5課「頼む・断る」導入		

29	第5課「頼む・断る」
30	第5課「頼む・断る」
31	後期の復習
32	後期定期試験
33	後期試験FB 第5課「頼む・断る」
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>
教科書名	『にほんで働く！ビジネス日本語30時間』（スリーエーネットワーク）

科目名	日本事情	国際科	1 年通年
講師	高橋 尚子	講義	火曜 5 限
実務経験のある教員 等による指導		2 単位 36時間	全34回
科目概要	職場で円滑にコミュニケーションがとれるよう、日本企業特有の慣例や独特の表現について学ぶ。実際のビジネス現場を想定した実践演習を通し、知識を深めていく。		
到達目標	日本企業特有のビジネス習慣を知り、職場で周囲と適切なコミュニケーションをとることができるようになる。		
授業計画			
1	Chapter1-01①		
2	Chapter1-01②		
3	Chapter1-02①		
4	Chapter1-02②		
5	Chapter1-03①		
6	Chapter1-03②		
7	Chapter1-04①		
8	Chapter1-04②		
9	Chapter1-05①		
10	Chapter1-05②		
11	Chapter1-06①		
12	Chapter1-06②		
13	Chapter1-07①		
14	Chapter1-07②		
15	復習		
16	前期定期試験		
17	Chapter1-08①		
18	Chapter1-08②		
19	Chapter1-09①		
20	Chapter1-09②		
21	Chapter2-10①		
22	Chapter2-10②		
23	Chapter2-11①		
24	Chapter2-11②		
25	Chapter2-12①		
26	Chapter2-12②		
27	Chapter2-13①		
28	Chapter2-13②		

29	Chapter2-14①
30	Chapter2-14②
31	復習
32	復習
33	後期定期試験
34	試験FB
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評価は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評価する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『マンガで体験！ にっぽんのカイシャ』（日本漢字能力検定協会）

科目名	日本語レベルアップ	国際科	1 年通年
講師	上村 ひとみ	講義	水曜 3 限
実務経験のある教員 等による指導		4 単位 72時間	全34回
科目概要	実用性重視の文章を書くことを学び、自ら発信する力を伸ばす力を身につけることに 焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。		
到達目標	「書く」を中心に日本語の運用能力向上を目標とする。		
授業計画			
1	第1課 日本人の家を訪問する		
2	第1課 日本人の家を訪問する		
3	第2課 出張の報告をする		
4	第2課 出張の報告をする		
5	第3課 寄り道を提案する		
6	第3課 寄り道を提案する		
7	第1課～第3課 復習		
8	第4課 店で注文する		
9	第4課 店で注文する		
10	第5課 郵便局で荷物を送る		
11	第5課 郵便局で荷物を送る		
12	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
13	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
14	前期 復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FBと第7課 体験を話す		
17	第7課 体験を話す		
18	第7課 体験を話す		
19	第8課 日本の習慣を話す		
20	第8課 日本の習慣を話す		
21	第9課 パック旅行を申し込む		
22	第9課 パック旅行を申し込む		
23	第7課～第9課 復習		
24	第10課 奨学金についての情報を受ける		
25	第10課 奨学金についての情報を受ける		
26	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
27	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
28	第12課 しつけについて話す		
29	第12課 しつけについて話す		

30	第10課～第12課 復習
31	後期 復習
32	後期定期試験
33	定期試験FBと第13課 困った出来事を話す
34	第13課 困った出来事を話す
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『日本語集中トレーニング』（アルク）

科目名	日本語レベルアップ	国際科	1 年通年
講師	上村 ひとみ	講義	水曜 4 限
実務経験のある教員 等による指導		4 単位 72時間	全34回
科目概要	「話す」を中心に学び、自ら発信する力を伸ばす力を身につけることに焦点を当て、日本語を運用できる力を習得する。		
到達目標	「話す」を中心に日本語の運用能力向上を目標とする。		
授業計画			
1	第1課 日本人の家を訪問する		
2	第1課 日本人の家を訪問する		
3	第2課 出張の報告をする		
4	第2課 出張の報告をする		
5	第3課 寄り道を提案する		
6	第3課 寄り道を提案する		
7	第1課～第3課 復習		
8	第4課 店で注文する		
9	第4課 店で注文する		
10	第5課 郵便局で荷物を送る		
11	第5課 郵便局で荷物を送る		
12	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
13	第6課 不動産屋でマンションをさがす		
14	前期 復習		
15	前期定期試験		
16	定期試験FBと第7課 体験を話す		
17	第7課 体験を話す		
18	第7課 体験を話す		
19	第8課 日本の習慣を話す		
20	第8課 日本の習慣を話す		
21	第9課 パック旅行を申し込む		
22	第9課 パック旅行を申し込む		
23	第7課～第9課 復習		
24	第10課 奨学金についての情報を受ける		
25	第10課 奨学金についての情報を受ける		
26	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
27	第11課 温泉に連れて行ってもらう		
28	第12課 しつけについて話す		
29	第12課 しつけについて話す		

30	第10 課～12課 復習
31	後期 復習
32	後期定期試験
33	後期定期試験FBと第13課 困った出来事を話す
34	第13課 困った出来事を話す
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	『日本語集中トレーニング』（アルク）

科目名	通訳入門	国際科	1 年通年
講師	上野 綾子	講義	月曜 3 限
実務経験のある教員 等による指導		8 単位 144時間	全34回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ること为目标とする。1年次に土台をしっかり作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中にも含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ること为目标とする。		
授業計画			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の説明 ・ (J=日本語⇔V=ベトナム語) シャドーイング① ・ (J⇔V) 会話の場面想像と暗記 I 	※木曜日の 5 時間目と連動	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャドーイング① 発展練習 ・ I のターゲット文法を用いた発展練習 	※木曜日の 5 時間目と連動	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ (J⇔V) シャドーイング② ・ (J⇔V) 会話の場面想像と暗記 II 	※木曜日の 5 時間目と連動	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャドーイング② 発展練習 ・ II のターゲット文法を用いた発展練習 	※木曜日の 5 時間目と連動	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ (J⇔V) シャドーイング③ ・ (J⇔V) 会話の場面想像と暗記 III 	※木曜日の 5 時間目と連動	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャドーイング③ 発展練習 ・ III のターゲット文法を用いた発展練習 	※木曜日の 5 時間目と連動	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ (J⇔V) シャドーイング④ ・ (J⇔V) 会話の場面想像と暗記 IV 	※木曜日の 5 時間目と連動	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャドーイング④ 発展練習 ・ IV のターゲット文法を用いた発展練習 	※木曜日の 5 時間目と連動	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ (J⇔V) シャドーイング⑤ ・ (J⇔V) 会話の場面想像と暗記 V 	※木曜日の 5 時間目と連動	

10	<ul style="list-style-type: none"> ・シャドーイング⑤ 発展練習 ・IVのターゲット文法を用いた発展練習 	※木曜日の5時間目と連動
11	<ul style="list-style-type: none"> ・(J⇔V)シャドーイング⑥ ・(J⇔V)会話の場面想像と暗記VI 	※木曜日の5時間目と連動
12	<ul style="list-style-type: none"> ・シャドーイング⑥ 発展練習 ・VIのターゲット文法を用いた発展練習 	※木曜日の5時間目と連動
13	<ul style="list-style-type: none"> ・(J⇔V)シャドーイング⑦ ・(J⇔V)会話の場面想像と暗記VII 	※木曜日の5時間目と連動
14	<ul style="list-style-type: none"> ・シャドーイング⑦ 発展練習 ・VIIのターゲット文法を用いた発展練習 ・これまでの復習 	※木曜日の5時間目と連動
15	前期定期試験	
16	前期定期試験FB	
17	まとめ	
18	<ul style="list-style-type: none"> ・(J⇔V)シャドーイング⑧ ・(J⇔V)会話文の暗記 ・(J⇔V)文章を用いたリプロダクション練習(短文) I 	※木曜日の5時間目と連動
19	<ul style="list-style-type: none"> ・シャドーイング⑧、会話文の暗記 発展練習 ・(J⇔V)文章を用いたリプロダクション練習(短文) II 	※木曜日の5時間目と連動
20	<ul style="list-style-type: none"> ・(J⇔V) シャドーイング⑨ ・(J⇔V) 会話文の暗記 ・(J⇔V) 文章を用いたリプロダクション練習(短文) III 	※木曜日の5時間目と連動
21	<ul style="list-style-type: none"> ・シャドーイング⑨、会話文の暗記 発展練習 ・(J⇔V)文章を用いたリプロダクション練習(短文) IV 	※木曜日の5時間目と連動
22	<ul style="list-style-type: none"> ・(J⇔V)シャドーイング⑩ ・(J⇔V)会話文の暗記 ・(J⇔V)文章を用いたリプロダクション練習(短文) V 	※木曜日の5時間目と連動
23	<ul style="list-style-type: none"> ・シャドーイング⑩、会話文の暗記 発展練習 ・(J⇔V)文章を用いたリプロダクション練習 復習 	※木曜日の5時間目と連動

24	<ul style="list-style-type: none"> ・ (J⇔V) シャドーイング⑪ ・ (J⇔V) 会話文の暗記 ・ (J⇔V) 文章を用いたリプロダクション (長めの文) I-① 	※木曜日の5時間目と連動
25	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャドーイング⑪、会話文の暗記 発展練習 ・ (J⇔V) 文章を用いたリプロダクション (長めの文) I-② 	※木曜日の5時間目と連動
26	<ul style="list-style-type: none"> ・ (J⇔V) シャドーイング⑫ ・ (J⇔V) 会話文の暗記 ・ (J⇔V) 文章を用いたリプロダクション (長めの文) II-① 	※木曜日の5時間目と連動
27	<ul style="list-style-type: none"> ・ シャドーイング⑫、会話文の暗記 発展練習 ・ (J⇔V) 文章を用いたリプロダクション (長めの文) II-② 	※木曜日の5時間目と連動
28	暗記力を鍛える／ニュース記事を用いた練習	※木曜日の5時間目と連動
29	暗記力を鍛える／ニュース記事を用いた練習	※木曜日の5時間目と連動
30	暗記力を鍛える／ニュース記事を用いた練習	※木曜日の5時間目と連動
31	復習	※木曜日の5時間目と連動
32	後期定期試験	
33	後期定期試験FB	
34	まとめ	
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>	

教科書名	『1日10分のシャドーイング！就活・仕事のにほんご会話』（アスク出版） 『新・シャドーイング 日本語を話そう！ 初～中級編 [インドネシア語・タイ語・ベトナム語訳版]』（くろしお出版） 『わかる！話せる！日本語会話 発展文型125』（Jリサーチ出版）
------	---

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	白濱 明子	講義	月曜4限
実務経験のある教員 等による指導		8単位 144時間	全34回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ること为目标とする。1年次に土台をしっかりと作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中に含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ること为目标とする。		
授業計画			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の説明 ・ 語彙C2-S1 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 語彙の意味説明 (V⇔J) 	※月曜5時間目と連動	
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C3-S2~3 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 短文作成 	※月曜5時間目と連動	
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C6-S1~2 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 語彙の意味説明 (V⇔J) 	※月曜5時間目と連動	
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C6-S3~4 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 短文作成 	※月曜5時間目と連動	
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C6-S5、+α (V⇔J) クイックレスポンス ・ 語彙の意味説明 (V⇔J) 	※月曜5時間目と連動	
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 	※月曜5時間目と連動	
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C8-S1~2 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 短文作成 	※月曜5時間目と連動	
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C8-S3~4 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 語彙の意味説明 (V⇔J) 	※月曜5時間目と連動	
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C8-S5、+α (V⇔J) クイックレスポンス ・ 短文作成 	※月曜5時間目と連動	

10	・ 語彙復習	※月曜5時間目と連動
11	・ 語彙C10-S1~2 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 会話要約 (V⇔J)	※月曜5時間目と連動
12	・ 語彙C10-S3~4 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 日常会話の要約 2	※月曜5時間目と連動
13	・ 語彙C10-S5・+ α (V⇔J) クイックレスポンス ・ 会話要約 (V⇔J)	※月曜5時間目と連動
14	・ 語彙復習 ・ 会話要約 (V⇔J)	※月曜5時間目と連動
15	・ 復習	※月曜5時間目と連動
16	前期定期試験	
17	前期定期試験フィードバック	
18	・ 語彙C11-S1~2 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 語彙の意味説明 (V⇔J)	※月曜5時間目と連動
19	・ 語彙C11-S3~4 (V⇔J) クイックレスポンス ・ その場に適した通訳 1	※月曜5時間目と連動
20	・ 語彙C11-S5、+ α (V⇔J) クイックレスポンス ・ その場に適した通訳 2	※月曜5時間目と連動
21	・ 語彙復習 ・ その場に適した通訳 3	※月曜5時間目と連動
22	・ 語彙C12-S1~2 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 通訳と異文化コミュニケーション	※月曜5時間目と連動
23	・ 語彙C12-S3~4 (V⇔J) クイックレスポンス ・ 日本事情の通訳 1	※月曜5時間目と連動

24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C12-S5・+α (V\leftrightarrowJ) クイックレスポンス ・ 日本事情の通訳 2 	※月曜5時間目と連動
25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ 日本事情の通訳 3 	※月曜5時間目と連動
26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S1 (V\leftrightarrowJ) クイックレスポンス ・ 翻訳ツール ・ 語彙の意味 	※月曜5時間目と連動
27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S2 (V\leftrightarrowJ) クイックレスポンス ・ 翻訳ツールと通訳者の通訳 1 	※月曜5時間目と連動
28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S3 (V\leftrightarrowJ) クイックレスポンス ・ 翻訳ツールと通訳者の通訳 2 	※月曜5時間目と連動
29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S4 (V\leftrightarrowJ) クイックレスポンス ・ 翻訳ツールと通訳者の通訳 3 	※月曜5時間目と連動
30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S5 (V\leftrightarrowJ) クイックレスポンス ・ 通訳演習 1 	※月曜5時間目と連動
31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ 通訳演習 2 	※月曜5時間目と連動
32	復習	※月曜5時間目と連動
33	後期定期試験	
34	後期定期試験フィードバック	
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したと認める</p>	
教科書名	「はじめての日本語能力試験N3単語2000」（アスク） ほかレジュメ	

科目名	通訳入門	国際科	1 年通年
講師	白濱 明子	講義	月曜 5 限
実務経験のある教員 等による指導		8 単位 144時間	全34回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ること为目标とする。1年次に土台をしっかりと作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中を含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ること为目标とする。		
授業計画			
1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業の説明 ・ 語彙C2-S1 ・ 通訳テスト・テストフィードバック 		
2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C3-S2~3 ・ 通訳とは 通訳の仕事とは ・ 通訳に必要な知識 		
3	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C6-S1~2 ・ 書きことばと話し言葉 		
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C6-S3~4 ・ メモ／ノートを取る 1 (数字) 		
5	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C6-S5、+α ・ メモ／ノートを取る 2 (要点) 		
6	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ 復習、ミニテスト 		
7	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C8-S1~2 ・ テストFB 		
8	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C8-S3~4 ・ 辞書を使う 1 		
9	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C8-S5、+α ・ 辞書を使う 2 		
10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ コミュニティ通訳とは 		
11	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C10-S1~2 ・ 日常会話の要約 1 		
12	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C10-S3~4 ・ 日常会話の要約 2 		
13	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C10-S5・+α ・ 日常会話の要約 3 		
14	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ 日常会話の要約 4 		
15	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習 		

16	前期定期試験
17	前期定期試験フィードバック
18	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C11-S1~2 ・ 通訳者の立場／先輩の話を聞いてみよう
19	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C11-S3~4 ・ その場に適した通訳 1
20	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C11-S5、+α ・ その場に適した通訳 2
21	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ その場に適した通訳 3
22	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C12-S1~2 ・ 通訳と異文化コミュニケーション
23	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C12-S3~4 ・ 日本事情の通訳 1
24	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C12-S5・+α ・ 日本事情の通訳 2
25	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ 日本事情の通訳 3
26	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S1 ・ 翻訳ツール
27	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S2 ・ 翻訳ツールと通訳者の通訳 1
28	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S3 ・ 翻訳ツールと通訳者の通訳 2
29	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S4 ・ 翻訳ツールと通訳者の通訳 3
30	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙C1-S5 ・ 通訳演習 1
31	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語彙復習 ・ 通訳演習 2
32	復習
33	後期定期試験
34	後期定期試験フィードバック
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	<p>「はじめての日本語能力試験N3単語2000」（アスク）</p> <p>ほかレジュメ</p>

科目名	通訳入門	国際科	1年通年
講師	上野 綾子	講義	木曜5限
実務経験のある教員等による指導		8単位 144時間	全32回
科目概要	語彙力、文法力をさらに伸ばす。通訳を行う上で、大切になるシャドーイング、ディクテーション、要約等の「基本」の練習を行い、通訳者としての基礎を作ること为目标とする。1年次に土台をしっかりと作っておくことで2年次への橋渡しができる。通訳者になるための初めの一步を学ぶ。翻訳の基礎もこの授業の中を含める。		
到達目標	通訳者としての基礎を作ること为目标とする。		
授業計画			
1	授業の説明 / シャドーイング① / 会話の場面想像と暗記Ⅰ		
2	シャドーイング①-2 / Ⅰのターゲット文法を用いたりプロダクション フレーズ暗唱		
3	シャドーイング② / 会話の場面想像と暗記Ⅱ		
4	シャドーイング②-2 / Ⅱのターゲット文法を用いたりプロダクション フレーズ暗唱		
5	シャドーイング③ / 会話の場面想像と暗記Ⅲ		
6	シャドーイング③-2 / Ⅲのターゲット文法を用いたりプロダクション フレーズ暗唱		
7	シャドーイング④ / 会話の場面想像と暗記Ⅳ		
8	シャドーイング④-2 / Ⅳのターゲット文法を用いたりプロダクション フレーズ暗唱		
9	シャドーイング⑤ / 会話の場面想像と暗記Ⅴ		
10	シャドーイング⑤-2 / Ⅴのターゲット文法を用いたりプロダクション フレーズ暗唱		
11	シャドーイング⑥ / 会話の場面想像と暗記Ⅵ		
12	シャドーイング⑥-2 / Ⅵのターゲット文法を用いたりプロダクション フレーズ暗唱		
13	シャドーイング⑦ / 会話の場面想像と暗記Ⅶ		
14	シャドーイング⑦-2 / Ⅶのターゲット文法を用いたりプロダクション フレーズ暗唱		
15	復習		
16	前期定期試験		
17	前期定期試験FB		
18	シャドーイング⑧ / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション練習 (短文) Ⅰ		
19	シャドーイング⑧-2 / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション練習 (短文) Ⅱ		
20	シャドーイング⑨ / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション練習 (短文) Ⅲ		
21	シャドーイング⑨-2 / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション練習 (短文) Ⅳ		
22	シャドーイング⑩ / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション練習 (短文) Ⅴ		
23	シャドーイング⑩-2 / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション練習復習		
24	シャドーイング⑪ / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション (長めの文) Ⅰ		
25	シャドーイング⑪-2 / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション (長めの文) Ⅰ-②		
26	シャドーイング⑫ / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション (長めの文) Ⅱ		
27	シャドーイング⑫-2 / 会話文の暗記 / 文章を用いたりプロダクション (長めの文) Ⅱ-②		

28	暗記力を鍛える／ニュース記事を用いた練習
29	暗記力を鍛える／ニュース記事を用いた練習
30	暗記力を鍛える／ニュース記事を用いた練習
31	復習
32	後期定期試験
成績評価方法	<p>前期と後期の成績点数を平均した点数が学年の成績となる。</p> <p>成績評定は、定期試験の結果、さらに授業等の学習活動（取り組み、宿題などの提出物）を90%、出席率を10%として評定する。日々の小テストおよび復習テストを含む科目もある。</p> <p>成績：100%（60%以上合格）</p> <p>※評価基準 S+:97-100 S:93-96 S-:90-92 A+:87-89 A:83-86 A-:80-82 B+:77-79 B:73-76 B-:70-72 C+:67-69 C:63-66 C-:60-62 D+:50-59 D:40-49 D-:30-39 E:0-29</p> <p>出席率が90%未満の場合には補講を行う。補講の出席をもって履修したものと認める</p>
教科書名	<p>『1日10分のシャドーイング！就活・仕事のにほんご会話』（アスク出版）</p> <p>『新・シャドーイング 日本語を話そう！ 初～中級編 [インドネシア語・タイ語・ベトナム語訳版]』（くろしお出版）</p> <p>『わかる！話せる！日本語会話 発展文型125』（Jリサーチ出版）</p>